

平成23年度における運用状況等

(平成23年4月～平成24年3月)

独立行政法人農業者年金基金は、年金資産の安全かつ効率的な運用を行っていますが、平成23年度における運用状況が確定しましたので公表いたします。

なお、毎年6月末日までに被保険者等の皆様に送付させて頂いております「運用（付利）結果のお知らせ」の基礎となります前年度の運用成績につきましては、毎年度の末日における運用収入の額が基準となります。

当基金が行っています年金資産の運用については、金融・経済情勢等の運用環境の影響により、短期的には、運用成績がプラスになる年やマイナスになる年がありますが、長期的な運用により安定した運用収益を上げることが期待されます。

今後とも、安全かつ効率的な運用を徹底して参りたいと思いますので、皆様のご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【参考】

独立行政法人農業者年金基金中期計画（平成20年3月31日認可）－抜粋－

2 年金資産の安全かつ効率的な運用

(4) 年金資産の構成割合、運用成績等については、四半期ごとにホームページで情報を公開するとともに、加入者に対して、毎年6月末日までにその前年度末現在で評価した個々の加入者に係る運用結果を通知する。

目 次

	頁
1. 平成23年度（平成23年4月～平成24年3月）における運用環境について	1
2. 平成23年度（平成23年4月～平成24年3月）のポートフォリオ別の運用状況	2
3. ベンチマーク・インデックスの推移	4
（参考）	
被保険者ポートフォリオ 運用実績等の推移	5
用語の説明	7

◎平成23年度（平成23年4月～平成24年3月）における運用環境について

○国内債券・外国債券

国内債券市場は国債増発懸念から4月中旬に10年国債利回りは1.34%まで上昇しましたが、その後は米国経済の減速懸念や欧州債務問題等を背景に8月上旬には1%割れまで低下しました。その後は概ね1%をはさんで推移しました。

米国10年国債利回りは、景気減速懸念や欧州債務問題等を背景に、年度初の3.6%近辺から年度半ばには2%割れの水準まで金利は低下しました。その後は概ね2%をはさんで推移しました。

○国内株式・外国株式

第1四半期は東日本大震災による業績悪化懸念等から国内株式は軟調に推移しました。外国株式は良好な米国経済指標等を受けて4月は上昇しましたが、5月以降は欧州債務問題等から下落しました。第2四半期は米国経済の減速懸念や欧州債務問題の深刻化等を受けて、国内外株式は大幅に下落しました。第3四半期は欧州債務問題への過度な悲観論が後退したこと等から、外国株式は上昇へ転じましたが、国内株式は円高を受けて軟調に推移しました。第4四半期は世界的な金融緩和策や円安などを背景に国内外株式は大幅に上昇しました。

○為替

為替市場では、米国経済の減速懸念や欧州債務問題等を背景に、年度初からドルやユーロに対して円高基調となりました。欧州債務問題が深刻化したこと等から10月下旬には対ドルで75円台半ばまで、1月中旬には対ユーロで97円近辺まで大幅に円高が進行しました。その後は欧州債務問題への懸念が後退したことや2月に日銀が追加金融緩和を実施したこと等から、3月末にかけて円安基調となりました。

2. 平成23年度第4四半期まで(平成23年4月～平成24年3月)のポートフォリオ別の運用状況

① 被保険者ポートフォリオ

平成23年度第4四半期まで(平成23年4月～平成24年3月)の被保険者及び待期者に係る資産の運用状況は、次表のとおり、平成24年3月末の時価総額は1,585億20百万円となり、第4四半期までの総合収益は35億66百万円となりました。また、修正総合利回りは2.36%となりました。

(単位:百万円、%)

資 産	平成22年度末 時価総額 ①	第4四半期までの 保険料・国庫補助 投下額等②	計 ③=①+②	平成24年3月末 時価総額 ④	時価総額 構成割合	第4四半期までの 総合収益 ⑤=④-③	(参考) 修正総合 利回り ⑥
国内債券	101,560	3,462	105,021	107,216	67.6	2,194	2.12
自家運用	51,418	426	51,844	52,573	33.2	729	1.40
外部委託	50,142	3,036	53,177	54,643	34.5	1,466	2.85
国内株式	18,029	3,018	21,047	21,538	13.6	491	2.47
外国債券	7,579	125	7,705	8,103	5.1	399	5.07
外国株式	18,595	2,415	21,010	21,576	13.6	566	2.87
短期資産	328	-158	170	87	0.1	-83	-
合 計	146,091	8,862	154,953	158,520	100.0	3,566	2.36

- (注) 1. 「平成22年度末時価総額①」欄は、平成22年度決算整理後の額となっています。
 2. 国内債券のうち自家運用(満期保有分(基本的に50%))については、償却原価法を適用しています。
 3. 「第4四半期までの保険料・国庫補助投下額等②」欄は、受給権者経理への繰入額及び死亡一時金の給付額を控除しています。
 4. 短期資産の修正総合利回りの数値は、信託報酬及び保管手数料を含めているため、表示していません。
 なお、外貨流動性預金に係る為替評価損益等を整理する前の短期資産の利回りは、自家運用分が0.031%、外部委託分が0.146%となりました。
 5. 単位未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります(以下同じ)。

(参考)

平成23年度第4四半期(平成24年1月～3月)の運用状況

(単位:百万円、%)

資 産	平成23年12月末 時価総額 ①	第4四半期保険料・ 国庫補助投下額等②	計 ③=①+②	平成24年3月末 時価総額 ④	時価総額 構成割合	第4四半期総合収益 ⑤=④-③	(参考) 修正総合 利回り ⑥
国内債券	104,173	2,667	106,840	107,216	67.6	376	0.35
自家運用	52,120	272	52,392	52,573	33.2	181	0.35
外部委託	52,053	2,395	54,448	54,643	34.5	194	0.36
国内株式	17,556	629	18,185	21,538	13.6	3,353	18.45
外国債券	7,613	-205	7,409	8,103	5.1	695	9.26
外国株式	16,494	1,581	18,076	21,576	13.6	3,500	19.33
短期資産	3,839	-3,698	141	87	0.1	-54	-
合 計	149,676	975	150,650	158,520	100.0	7,869	5.24

② 被保険者危険準備金ポートフォリオ

平成23年度第4四半期まで(平成23年4月～平成24年3月)における付利準備金及び調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:百万円、%)

区 分	資 産	平成22年度末 時価総額 ①	第4四半期までの 繰入額等②	計 ③=①+②	平成24年3月末 時価総額 ④	第4四半期までの 総合収益 ⑤=④-③	(参考) 修正総合 利回り ⑥
付利準備金	短期資産	1,034	3	1,037	1,039	2.0	0.19
調整準備金	短期資産	941	-34	906	908	1.6	0.17
合 計		1,974	-31	1,943	1,947	3.6	0.18

(注) 1. 「平成22年度末時価総額①」欄は、平成22年度決算整理後の額となっています。

2. 「第4四半期までの繰入額等②」欄では、被保険者ポートフォリオからの受入額と、受給権者危険準備金ポートフォリオへの繰入額の差額を計上しています。

③ 受給権者ポートフォリオ

平成23年度第4四半期(平成23年4月～平成24年3月)における受給権者に係る資産の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:百万円、%)

資 産	平成22年度末 時価総額 ①	第4四半期までの 繰入額等②	計 ③=①+②	平成24年3月末 時価総額 ④	第4四半期までの 総合収益 ⑤=④-③	(参考) 修正総合 利回り ⑥
国内債券	6,752	4,184	10,936	11,319	383	4.61
短期資産	132	204	336	337	0.1	0.05
合 計	6,884	4,388	11,272	11,655	383	4.49

(注) 1. 「平成22年度末時価総額①」欄は、平成22年度決算整理後の額となっています。

2. 「第4四半期までの繰入額等②」欄では、被保険者ポートフォリオからの受入額と、年金及び死亡一時金の給付額の差額を計上しています。

④ 受給権者危険準備金ポートフォリオ

平成23年度第4四半期(平成23年4月～平成24年3月)における受給権者に係る調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。

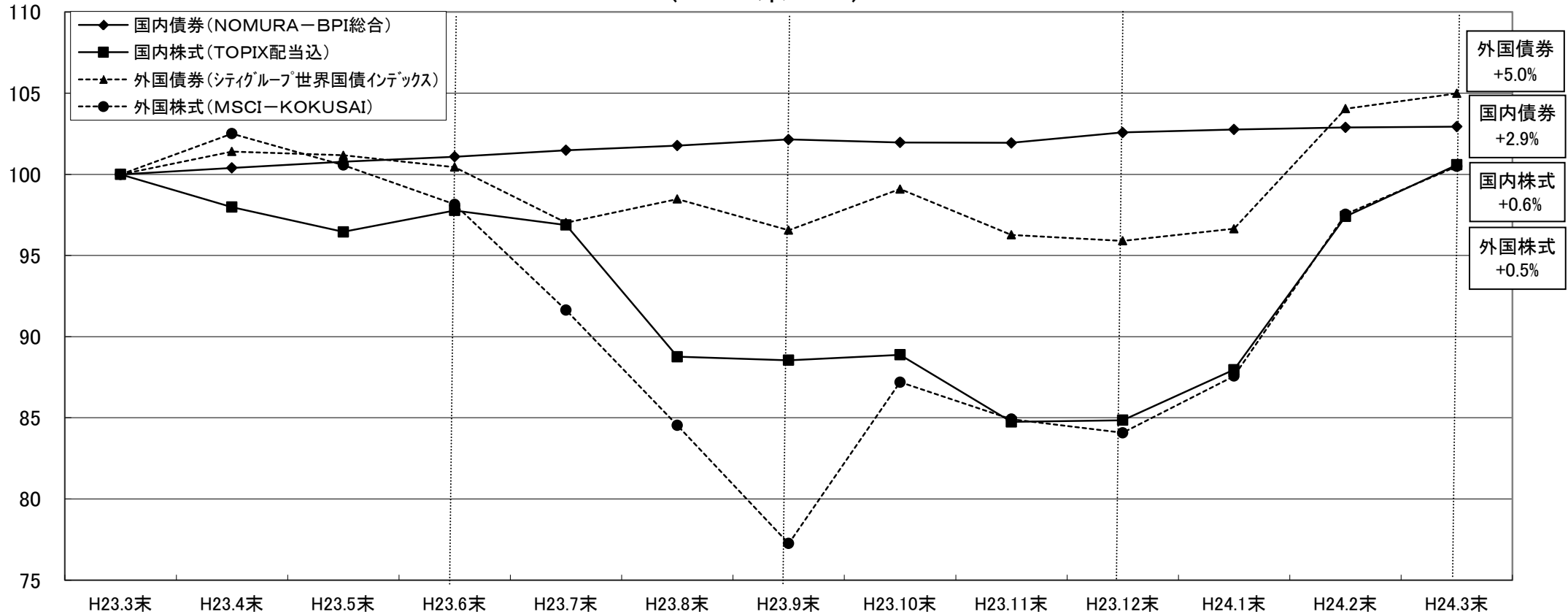
(単位:百万円、%)

区 分	資 産	平成22年度末 時価総額 ①	第4四半期までの 繰入額②	計 ③=①+②	平成24年3月末 時価総額 ④	第4四半期までの 総合収益 ⑤=④-③	(参考) 修正総合 利回り ⑥
調整準備金	短期資産	575	145	720	721	1.0	0.17

(注) 1. 「平成22年度末時価総額①」欄は、平成22年度決算整理後の額となっています。

2. 「第4四半期までの繰入額②」欄では、被保険者ポートフォリオからの受入額及び被保険者危険準備金ポートフォリオからの受入額の合計額を計上しています。

ベンチマーク・インデックスの推移 (H23.3末=100)



○運用環境

	平成23年3月末	平成23年6月末	平成23年9月末	平成23年12月末	平成24年3月末
国内債券 (新発10年国債利回り)	1.249 %	1.131 %	1.025 %	0.980 %	0.984 %
(NOMURA-BPI総合)	328.522 ポイント	332.090 ポイント	335.574 ポイント	336.989 ポイント	338.183 ポイント
国内株式 (日経225)	9,755.10 円	9,816.09 円	8,700.29 円	8,455.35 円	10,083.56 円
(TOPIX配当込)	1,102.75 ポイント	1,078.22 ポイント	976.39 ポイント	935.71 ポイント	1,109.28 ポイント
外国債券 (米国10年国債利回り)	3.472 %	3.161 %	1.916 %	1.877 %	2.211 %
(独10年国債利回り)	3.354 %	3.025 %	1.887 %	1.829 %	1.794 %
(シティグループ世界国債インデックス)	290.67 ポイント	291.94 ポイント	280.68 ポイント	278.77 ポイント	305.17 ポイント
外国株式 (NYダウ)	12,319.73 ドル	12,414.34 ドル	10,913.38 ドル	12,217.56 ドル	13,212.04 ドル
(独DAX指数)	7,041.31 ポイント	7,376.24 ポイント	5,502.02 ポイント	5,898.35 ポイント	6,946.83 ポイント
(MSCI-KOKUSAI)	1,209.121 ポイント	1,186.748 ポイント	934.118 ポイント	1,016.601 ポイント	1,215.125 ポイント
為替レート (対ドル)	82.88 円	80.76 円	77.08 円	76.94 円	82.30 円
(対ユーロ)	117.62 円	117.09 円	103.42 円	99.88 円	109.59 円

(参考) 被保険者ポートフォリオ 運用実績等の推移

(1) 総合収益の推移

(単位:百万円)

年度	総合収益 (単年度)
平成14年度	-563
15	1,852
16	1,690
17	6,603
18	2,923
19	-5,047
20	-10,765
21	10,849
22	-82
23	3,566

(注)「平成14年度」の計数は、平成14年1月1日から平成15年3月31日までのものです。(以下同じ)

(2) 運用利回りの推移

年度	修正総合 利回り (単年度)
平成14年度	-4.65%
15	5.99%
16	3.40%
17	9.80%
18	3.27%
19	-4.73%
20	-9.25%
21	9.14%
22	-0.06%
23	2.36%

(3) 資産別運用利回りの推移

年度	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式
平成14年度	2.58%	-28.75%	16.31%	-31.72%
15	-0.08%	48.62%	-1.70%	21.12%
16	1.76%	3.07%	11.42%	14.90%
17	-0.14%	49.88%	7.83%	27.68%
18	1.75%	0.94%	10.62%	17.36%
19	2.42%	-29.59%	0.80%	-18.59%
20	1.53%	-33.61%	-7.44%	-44.90%
21	1.66%	28.45%	0.57%	43.69%
22	1.58%	-8.24%	-5.78%	2.78%
23	2.12%	2.47%	5.07%	2.87%

【参考】

平成23年度各四半期毎の総合収益及び修正総合利回りの推移

(単位:百万円)

	総合収益	修正総合 利回り
第1四半期	16	0.01%
第2四半期	-5,233	-3.51%
第3四半期	914	0.63%
第4四半期	7,869	5.24%
通期	3,566	2.36%

(4) 年度末時価総額の推移

(単位: 百万円)

年度	国内債券		国内株式		外国債券		外国株式		短期資産		合計
	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	
平成14年度	15,485	67.5%	3,169	13.8%	1,225	5.3%	1,639	7.1%	1,434	6.3%	22,948
15	33,240	78.5%	4,166	9.8%	1,935	4.6%	1,555	3.7%	1,438	3.4%	42,335
16	43,270	71.6%	9,081	15.0%	2,192	3.6%	5,765	9.5%	121	0.2%	60,430
17	57,192	69.2%	14,581	17.6%	2,510	3.0%	8,219	9.9%	117	0.1%	82,619
18	72,170	71.9%	15,014	15.0%	3,694	3.7%	9,310	9.3%	157	0.2%	100,345
19	80,207	73.6%	15,108	13.9%	3,229	3.0%	9,200	8.4%	1,192	1.1%	108,937
20	81,805	72.9%	13,891	12.4%	5,568	5.0%	10,778	9.6%	165	0.1%	112,207
21	92,656	68.4%	18,109	13.4%	6,762	5.0%	17,705	13.1%	311	0.2%	135,543
22	101,560	69.5%	18,029	12.3%	7,579	5.2%	18,595	12.7%	323	0.2%	146,087
23	107,216	67.6%	21,538	13.6%	8,103	5.1%	21,576	13.6%	87	0.1%	158,520

【参考】

運用手法別時価総額(平成23年度末)

(単位: 百万円)

	自家運用 資産	外部運用 資産	計
国内債券	52,573	54,643	107,216
国内株式	-	21,538	21,538
外国債券	-	8,103	8,103
外国株式	-	21,576	21,576
短期資産	2	85	87
合計	(33.2%) 52,575	(66.8%) 105,945	(100.0%) 158,520

用語の説明

○ ポートフォリオ

資産を運用する際の保有資産の組合せのこと。また、組み合わされた運用資産全体を指すこともある(同義語 ファンド)。

○ 総合収益

利息、配当金や売買損益といった実現損益だけではなく、評価損益や未収収益を加味した収益のこと。

○ 修正総合利回り

総合収益を、運用元本に時価の概念を加味した残高で割って算出した収益率のこと。運用成績の開示に広く用いられている。

修正総合利回り = (総合収益) ÷ (運用元本平均残高 + 前期末評価損益 + 前期末未収収益)

○ ベンチマーク・インデックス

各資産の収益率を評価する基準となる指標のこと。

以下は、被保険者ポートフォリオにおけるそれぞれの資産のベンチマーク・インデックスとして、当基金が採用しているものである。

* NOMURA-BPI総合

野村証券金融工学研究センターが作成している国内債券市場の指標。国内で発行された残存1年以上の固定利付円建債(A格相当以上)から構成される。国内債券市場の代表的な指標である。

* TOPIX(配当込)

東京証券取引所が作成している国内株式市場の指標。東証一部全上場銘柄から構成される。国内株式市場の代表的な指標である。

* シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし、円ベース)

シティグループ・グローバル・マーケット・インクが作成している外国債券市場の指標。主要各国(除く日本)が発行する国債から構成される。外国債券市場の代表的な指標である。

* MSCI-KOKUSAI(源泉税控除前、配当再投資、円換算)

MSCI Incが作成している外国株式市場の指標。主要各国(除く日本)の証券取引所上場銘柄から構成される。外国株式市場の代表的な指標である。